

日本産業衛生学会
近畿地方会ニュース

 発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
 〒 602-8048 京都市上京区下立売通
 小川東入ル
 中西印刷株式会社 (日本産業衛生学会
 近畿地方会事務局支局)
 発行責任者・中西一郎 (地方会会長)
<http://jsoh-kinki.jp>
第 67 回日本産業衛生学会近畿地方会総会および基調講演・シンポジウム

日 時：2019年6月8日(土) 13:10～17:00

場 所：大阪市立大学医学部学舎 4階大講義室

演者：大阪労働局職業安定部職業対策課 中塚 毅

座長：大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

井上幸紀

障害者の雇用の促進等に関する法律(略称：障害者雇用促進法)は1960年に定められました。その後1987年に名称が「障害者の雇用の促進等に関する法律」となり、知的障害者も適用対象となり、1997年からは知的障害者の雇用も事業主の義務となりました。2006年には精神障害者(精神障害者保健福祉手帳所持者)である労働者及び短時間労働者も対象とされ、2016年に障害者差別禁止規定や合理的配慮の概念が導入され、2018年からは法定雇用率の算定基礎に精神障害者を加える改正法が施行されています。

障害者に対する差別の禁止においては、事業主は、募集・採用において、障害者に対して障害者でない者と同等な機会を与えなければなりません。また、賃金・教育訓練・福利厚生その他の待遇について、障害者であることを理由に障害者でない者と不当な差別的取扱いをしてはなりません(障害者雇用促進法第34～35条)。また、障害者に対する合理的配慮として、事業主は、募集・採用に当たり障害者からの申出により障害の特性に配慮した必要な措置を講じなければなりません。また、障害の特性に配慮した、施設整備、援助者の配置などの必要な措置を講じなければなりません(障害者雇用促進法第36条の2～36条の4)。

近年大きく変わりつつある障害者雇用を取り巻く状況を正しく理解し、障害者と共に働いていく方法について、様々な立場から自由にご発表いただき、会場の皆様と話し合えればと思っております。一人でも多くの方のご参加を期待しております。

<プログラム>

13:10～13:50 近畿地方会総会

14:00～17:00 基調講演・シンポジウム

テーマ：障害者雇用を考える

基調講演 (14:00～15:00)

「障害者雇用の現状と障害者雇用に関する法制度について」

シンポジウム (15:00～17:00)

「よりよい障害者雇用を行うために」

シンポジスト：

1) 雇用者の立場から

クボタワークス株式会社・クボタサンベジ株式会社

酒井直人

2) 保健師の立場から

オムロンエキスパートリンク株式会社 米山貴子

3) 産業医の立場から

パナソニック株式会社・CNS社北門真健康管理室

黒木和志郎

4) 精神科嘱託産業医の立場から

大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学

出口裕彦

総合討論

シンポジストと基調講演者の皆様

座長：

パナソニック健康保険組合健康管理センター

伊藤正人

一般財団法人 京都工場保健会

村田理絵

<参加費>

日本産業衛生学会(産衛学会)員：無料

産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000円

非産衛学会員：2,000円

非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：6,000円

<単位申請>

日本医師会産業医認定単位：3単位申請中(生涯：更新1単位、専門2単位)

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度研修 単位申請中

第 67 回近畿地方会総会および学術講演会

特別講演・シンポジウム申込要領

【参加費】

日本産業衛生学会（産衛学会）員：無料
 産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：3,000 円
 非産衛学会員：2,000 円
 非産衛学会員で日医認定産業医単位希望者：6,000 円

【定員】

定員は 200 名で、事前申込者を優先いたします。
 事前申込のない場合、お待ちいただいても満席でご参加
 いただけないことがあります。

【申し込み方法】

ホームページまたは FAX。申込用紙はホームページを
 ご覧いただくか事務局（FAX 06-7632-4070）より申込
 書をお取り寄せください。
 スマートフォン・タブレットからも参加申込が可能です。
 QR コードリーダーで読み取ってください。



【受け付け開始】

5 月 15 日（水）0 時から開始し、定員（200 名）になり
 次第締め切ります。

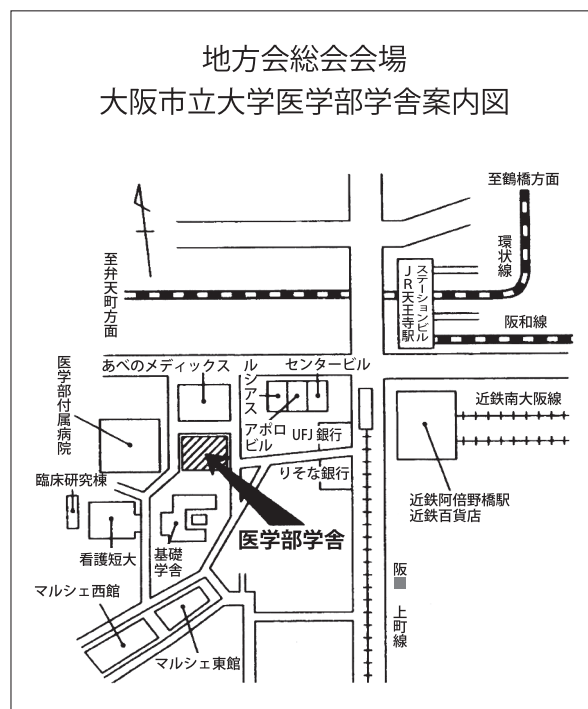
【諾否の連絡】

受講票の発送をもって受講可の回答とし、お断り（定員
 超過）の場合は FAX でご連絡します。

受講票の再発行はいたしませんので大切に保管し、紛失
 しないようご注意ください。

受験票が 6 月 3 日（月）になっても到着しない場合はお
 手数ですが、事務局（06-6123-7525）までご連絡くださ
 い。

■総会のみのご参加で、特別講演・シンポジウムには不
 参加の場合は申し込みは不要です。



■代議員の皆さまへ

総会の前に代議員会を開催いたします。

代議員の方はご出席ください。

時間：12：00～12：50

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 中講義室 1

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出欠確認」
 用のハガキを 5 月 29 日（水）必着でご返送ください。
 昼食の準備はしておりませんので、予め済ませてご来場
 ください。

■幹事の皆さまへ

幹事会を開催いたしますのでご予約おきください。

時間：10：50～12：00

場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階 中講義室 1

平成 30 年度近畿地方会収支報告および平成 31 年度予算

1. 収入の部

科 目	30 年度予算額	30 年度決算額	31 年度予算額	摘 要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	400,000	418,000	400,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	400,000	418,000	400,000	総会特別講演等当日参加費、連携プロジェクト資料代
受取補助金等	2,000,000	2,111,392	1,650,000	
受取本部助成金	2,000,000	2,111,392	1,650,000	本部示達額 - 源泉徴収分
受取負担金	2,000,000	2,171,800	2,000,000	
受取活動費	2,000,000	2,171,800	2,000,000	2,000 円×1,002 人
雑収益	200	242,897	30	
受取利息	200	28	30	
雑収益	0	242,869	0	第 58 回近畿産業衛生学会余剰金返金
経常収益計	4,400,200	4,944,089	4,050,030	

2. 支出の部

科 目	30 年度予算額	30 年度決算額	31 年度予算額	摘 要
事業費	4,350,000	3,987,766	4,044,000	
臨時雇賃金	60,000	60,000	60,000	総会特別講演・シンポジウム受付
会場費	150,000	188,710	190,000	総会特別講演・シンポジウム会場費
旅費交通費	10,000	0	0	
通信運搬費	20,000	13,906	20,000	
印刷製本費	120,000	194,582	160,000	
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	10,000	5,001	10,000	
機関紙印刷費	700,000	565,380	600,000	地方会ニュース印刷費
機関紙編集費	0	0	0	地方会ニュース編集費
機関紙発送費	600,000	476,006	500,000	地方会ニュース発送費
研究費	100,000	47,589	100,000	大学・部会・研究会の連携プロジェクト
諸謝金	100,000	90,000	100,000	総会特別講演・シンポジウム講師謝金等
学会助成金	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	500,000	500,000	500,000	近畿産業衛生学会助成金
部会助成金	450,000	150,000	300,000	150,000 円×2 部会（技術部会は辞退）
研究会助成金	100,000	100,000	100,000	50,000 円×2 研究会
委託費	1,050,000	1,024,000	1,024,000	総会（16万円）地方会ニュース（86万4千円）委託費
開発保守費	370,000	570,000	370,000	HP 関連
雑 費	10,000	2,592	10,000	振込手数料等
管 理 費	1,249,600	1,227,391	832,600	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	250,000	266,122	250,000	
旅費交通費	100,000	67,900	75,000	
通信運搬費	40,000	45,169	45,000	総会・代議員会出欠はがき受取手数料
役員改選費	400,000	403,064	20,000	
印刷製本費	60,000	71,724	69,000	総会・代議員会出欠はがき印刷費
消耗品費	10,000	578	1,000	
委託費	369,600	369,600	369,600	幹事会（24万円）会員管理（129,600円）委託費
雑 費	20,000	3,234	3,000	振込手数料・残高証明書発行手数料等
経常費用計	5,599,600	5,215,157	4,876,600	
当期一般正味財産増減額	-1,199,400	-271,068	-826,570	
一般正味財産期首残高	4,939,272	4,939,272	4,668,204	
一般正味財産期末残高	3,739,872	4,668,204	3,841,634	

2018年度事業報告

1. 第66回近畿地方会総会および学術講演会

日時：平成30年6月16日（土）13：00～17：00

場所：大阪市立大学医学部学舎4階大講義室

I. 地方会総会（13：00～13：50）

II. 学術講演会

1) 特別講演（14：00～15：00）

「働き方改革における産業保健活動と法的諸問題」

座長：廣部一彦（阪神労働衛生コンサルタント）

演者：山田長伸（山田総合法律事務所）

2) シンポジウム（15：00～17：00）

「職域産業保健活動と法的課題・疑問点～これでいいのだろうか？～」

座長：伊藤正人（パナソニック健保 健康管理センター）

藤吉奈央子（大阪産業保健総合支援センター）

産業医の立場から：

森本英樹（森本産業医事務所）

産業看護職の立場から：

荒木郁乃（積水化学工業株式会社）

参加者：206名

2. 第58回近畿産業衛生学会

日時：平成30年11月10日（土）

場所：和歌山県JAビル2階 和ホール・1階 アグリテラス

学会長：岩根幹能（新日鐵住金 和歌山製鐵所／NS メディカル・ヘルスケアサービス）

メインテーマ：「ダイバーシティ（多様性）＆インクルージョン（内包する）」

I. 一般講演

II. 基調講演

「パーソナリティ障害とは、いかなる障害なのか？」

座長：岩根幹能（新日鐵住金 和歌山製鐵所）

演者：花谷隆志（花谷心療内科クリニック）

III. シンポジウム

「パーソナリティ障害のインクルージョン」

座長：栗岡住子（桃山学院教育大学 教育学部）

岩根幹能（新日鐵住金 和歌山製鐵所）

「1次予防～パーソナリティ障害が不適応に陥りにくい職場づくり～」

演者：松田雅美（花王 和歌山工場）

「2次予防～事例化したパーソナリティ障害への対応～」

演者：麦谷耕一（新日鐵住金 和歌山製鐵所）

「3次予防～パーソナリティ障害の復職支援～」

演者：長見まき子（関西福祉科学大学 健康福祉学部）

「パーソナリティ障害への配慮と限界点」

演者：三柴丈典（近畿大学 法学部）

IV. 教育講演

「加熱式タバコの構造、蔓延の実態、使用者への対応とこれからの喫煙対策」

座長：平田真以子（クボタ 人事部 健康管理室）

演者：大和 浩（産業医科大学 健康開発科学）

V. ランチセミナー

「職員が急性心筋梗塞を発症！さあどうする？」

座長：宮川昌也（京都工場保健会）

演者：猪野 靖（和歌山県立医科大学 循環器内科）

参加者：214名

3. 代議員会

第1回 平成30年6月16日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第2回 平成30年11月10日（土）

和歌山県JAビル

4. 幹事会

第1回 平成30年6月16日（土）

大阪市立大学医学部学舎

第2回 平成30年10月4日（木）

あべの貸会議室リンク大阪ルームC

第3回 平成30年11月10日（土）

和歌山県JAビル

第4回 平成31年2月27日（水）

AP大阪梅田茶屋町 会議室E

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年4回（114号～117号）発行。

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 第23回近畿産業医部会研修会

日時：平成30年9月29日（土）

会場：大阪市立大学医学部学舎4階大講義室

テーマ「2020年にむけて、がんばれ日本の職場のたばこ対策」

1) 基調講演「東京オリパラにむけて！職場のたばこ対策の展望」

座長：森山和郎（パナソニック AIS 社西門真健康管理室）

講師：中村正和（地域医療振興協会ヘルスプロモーション研究センター）

2) シンポジウム「がんばれ日本の職場のたばこ対策」

座長：中西一郎（東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター）

シンポジスト：

今野由将（新日鐵住金（株）製鋼所）

「産業医の立場から」

和久純也（パナソニック健康保険組合）

「事業場の立場から」
鈴木美恵子（栗田工業（株））
「産業看護職の立場から」

参加者：87名

(2) 幹事会：年2回

第1回幹事会 平成30年9月29日（土）
大阪市立大学医学部学舎

第2回幹事会 平成31年2月22日（金）
サムティフェイム新大阪

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会

第1回

日時：平成30年6月23日（土）

会場：エルおおさか 南館10階

第1部 産業看護職交流会

参加者：33名

第2部 研修会

テーマ：「産業看護職のための保健指導UP to Date
～脳心疾患・過労死予防に健診結果を
どう活かすか？」

講師：廣部一彦（阪神労働衛生コンサルタント）

参加者：71名

第2回

日時：平成31年2月9日（土）

会場：エル・おおさか本館7階706

懇談会

テーマ：産業保健の最近の動向と産業看護職の役割

講師：五十嵐千代（日本産業衛生学会産業看護部
会）

講演会

テーマ：「治療就労両立、障害者雇用における合
理的配慮～産業看護職が知っておきたい
ポイント～」

講師：辻洋志（南森町CH労働衛生コンサルタ
ント事務所）

参加者：63名

(2) 幹事会：年4回

8. 近畿産業衛生技術部会

日時：平成30年5月12日（土）13：30～16：30

会場：新コスモス電機株式会社 本社D棟 トレーニ
ングセンター

テーマ「熱中症を 知る！体感する！予防す
る！」

(1) 特別講演：「熱中症をめぐる最近の動向と
歴史的変遷」

座長：栗岡住子（桃山学院教育大学）

講師：中井誠一（京都女子大学名誉教授）

(2) 熱中症予防のための測定実習と温熱環境
体験

(3) 熱中症対策グッズの紹介

参加者：38名

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会：年2回開催予定

第1回

日時：平成30年6月20日（水）18：30～21：00

会場：エルおおさか南館5階ホール

テーマ：「ストレスチェックの「集団分析活用の実
際」」

参加者：104名

第2回

日時：平成30年11月7日（水）18：30～21：00

会場：エルおおさか南館5階ホール

「競争社会における中高年ドロップアウトタイプ
への対応を中心に」

参加者：62名

(2) 職業性筋骨格系障害研究会

本年度は開催せず

10. 第8回近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

「がん患者の療養と職業生活の両立支援について：
和歌山県の実態調査」

森岡郁晴（和歌山産業保健総合支援センター）

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

第4回 研究室訪問

兵庫医科大学医学部公衆衛生学教室（島正之教
授）

日時：2018年6月2日土曜日 午後2時～4時

会場：兵庫医科大学医学部 教育研究棟 6F 602セ
ミナー室

第5回 研究室訪問

中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合セン
ター（圓藤 吟史所長）

日時：2018年8月24日 金曜日午後4時～5時半
会場：中央労働災害防止協会 大阪労働衛生総合
センター

テーマ：「～Safe Work, Safe Life～」

第6回 研究室訪問

大阪医科大学 衛生学・公衆衛生学教室（玉置 淳
子教授）

日時：2018年12月14日金曜日 午後4時～5時半
会場：大阪医科大学 総合研究棟12階 第3会
議室

（本文中敬称略）

2019 年度事業計画

1. 第 67 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：令和元年 6 月 8 日（土）
場所：大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室
I. 地方会総会 II. 学術講演会

2. 第 59 回近畿産業衛生学会

日時：令和元年 11 月 9 日（土）
場所：立命館大学朱雀キャンパス
学会長：森口次郎（一般財団法人 京都工場保健会）
I. 一般講演 II. 特別講演 III. シンポジウム

3. 代議員会

第 1 回 令和元年 6 月 8 日（土）
大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室
第 2 回 令和元年 11 月 9 日（土）
立命館大学朱雀キャンパス

4. 幹事会

第 1 回 令和元年 6 月 8 日（土）
大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室
第 2 回 令和元年 9 月
大阪市内貸会議室
第 3 回 令和元年 11 月 9 日（土）
立命館大学朱雀キャンパス
第 4 回 令和 2 年 2 月

大阪市内貸会議室

5. 広報活動

近畿地方会ニュースを年 4 回（118 号～121 号）発行予定。
地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

6. 近畿産業医部会

(1) 第 24 回近畿産業医部会研修会
令和元年 9 月 28 日（土）
(2) 幹事会：年 2 回を予定

7. 近畿産業看護部会

(1) 定例研修会：年 2 回を予定
(2) 幹事会：年 4 回を予定

8. 近畿産業衛生技術部会

(1) 産業衛生技術部会研修会 平成 31 年 3 月 9 日（土）
(2) 総会：年 1 回を予定

9. 研究会活動

(1) 産業精神衛生研究会：年 2 回開催予定
(2) 職業性筋骨格系障害研究会：年 1 回開催予定

10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

11. 大学・部会・研究会の連携プロジェクト

研究室訪問：年 3 回開催予定

平成 30 年度第 4 回（新旧合同）幹事会議事録

日時：2019 年 2 月 27 日 19：00～20：50

場所：AP 大阪梅田茶屋町 E ルーム

出席者：荒木郁乃、伊藤正人、井上幸紀、岩根幹能、上原新一郎、圓藤吟史、圓藤陽子、河津雄一郎、清原達也、久保田昌詞、佐藤恭子、鮫島真理子、鈴木純子、祖父江友孝、堤梨恵、中西一郎、長見まき子、西田和彦、濱田千雅、林朝茂、日高秀樹、平田真以子、廣部一彦、藤岡滋典、丸山総一郎、森岡郁晴、森口次郎、森山和郎（50 音順）

欠席者：大脇多美代、竹下達也、豊川彰博、藤吉奈央子、村田理絵（50 音順）

1. 審議事項

- 1) 平成 30 年度事業報告（案）→ 4～5P 参照
資料に基づき森岡会長から報告され、承認された。
- 2) 平成 30 年度決算報告（案）→ 3P 参照
資料に基づき中西副会長から報告された。一部集計間違いあり、訂正したものを報告することとなった。
- 3) 平成 31 年度事業計画（案）→ 6P 参照
資料に基づき森岡会長から報告され、承認された。
- 4) 平成 31 年度予算（案）→ 3P 参照
資料に基づき中西副会長から報告された。総会の特別プログラムの参加費を改定する提案があり、承認された（非会員の単位希望者を 1000 円増額）。
- 5) 近畿地方会新体制について
中西新会長から新体制について説明があった。総務・財務、学術・研究、広報、部会・研究会等の連携の 5 つの業務にガバナンス強化のために理事を正副 2 名ずつ当て、これまで通り代表幹事と担当幹

事で業務を遂行していく案が示され、承認された。

2. 報告事項

- 1) 大学・部会・研究会の連携プロジェクト
久保田理事より担当幹事を増やして体制強化した旨の報告があった。
- 2) 第 67 回近畿地方会総会の基調講演・シンポジウム→ 1P 参照
井上理事より進捗状況について報告があった。
- 3) 第 59 回近畿産業衛生学会の進捗状況→ 12P 参照
森口大会長から進捗状況について報告があった。
- 4) 選挙管理委員会からの報告
佐藤委員長から次の通り報告があった。
初めての電子投票が無事に終わった。投票を促すメールを 2 回送信したが、代議員選挙の投票率が 29.7% で前回より低下した。今後はメールアドレスの更新を呼び掛けていく。今回は会長、監事の自薦他薦が当初の設定期間内になく、延長した。会長と監事の両方に立候補があったので、今後は両方に立候補できない規定を作成するのはどうかとの意見があり、検討することとなった。
- 5) 地方会ニュースの発行状況と HP 更新状況
資料に基づき藤岡幹事から報告があった。
- 6) 本部理事会の報告
圓藤理事から次の通り報告があった。
許容濃度等の勧告を巡る訴訟の判決について、学会の主張を認める判決が東京地裁で下され、期限内に控訴の申し立てがなく判決が確定した。
- 7) その他
廣部理事から以下の通り報告があった。
京都で開催の動脈硬化学会で産業衛生学会との合同シンポジウムを、森口幹事をコーディネーターとして開催予定。会員にご参加をお願いする。

以上



故 阿部源三郎先生を偲ぶ



阿部源三郎先生の写真

日本産業衛生学会名誉会員の阿部源三郎先生が昨年12月3日に入院先の大阪市内の病院にてお亡くなりになりました(享年100歳)。先生は大正8年(1919年)大阪船場のお生まれで、旧制北野中学から旧制松山高校を経て昭和18年に大阪帝国大学医学部を卒業されました。すぐに海軍軍医として呉に赴任され終戦時は海軍兵学校の教官をされていたとのことです。呉では同期が乗った戦艦大和の、最後の出撃を見送られたことをよくお話されていました。終戦後、病院勤務を経て昭和23年より、生まれ育った大阪船場の旧伊藤萬(現住金物産)株式会社診療所で産業医(当時は医師である衛生管理者)として勤務されました。大阪府医師会では勤務医部会の創設に携われ、わが国を代表する勤務医部会としての発展に大いに貢献されました。昭和63年から4年間は地区医師会会長もされ、おそらく日本初の産業医・勤務医としての郡市区医師会会長だったと思います。産業医活動は医師会や産衛学会とともに、産業医や産業看護職が本音の意見交換のできる会として、平成2年に関西産業健康管理研究協議会(関西産研)を中堅・若手産業医とともに立ち上げられました。そして初代会長になられ翌年2月に関西産研の第1回研究会が開催されました。「これからは若い人らが中心や」が口癖で、若かった私達を暖かく叱咤激励して頂きました。そしてどの講演会でも、一番前の真ん中に座られて後輩の成長を見守っておられました。懇親会でのカンパイのあの大きな張りのある声を聞き、我々も背筋を伸ばしてカンパイ。最後までお元気で70年間の産業医生活を全うされました。「私の健康長寿は産業医になったから。」「酒も肉も好きだが、わしはきっちり在庫管理ができる。ずっとBMI=22や」とよく言われてました。昨年まで本当にお元気だった阿部源三郎先生のお声が聞けなくなりさみしい限りです。どうぞ安らかにお眠り下さい。

(有) 阪神労働衛生コンサルタント 廣部 一彦

『大学・部会・研究会の連携プロジェクト』研究会訪問

大阪労災病院 治療就労両立支援センター 久保田 昌詞

第6回報告

2018年12月15日午後4時から大阪医科大学衛生学・公衆衛生学教室(玉置淳子教授)を訪問した。

冒頭、玉置教授がこれまで取り組んで来られたJapanese Population-based Osteoporosis (JPOS) Cohort研究の概要を紹介され、大腿骨近位部骨折率が西高東低であり、世帯あたりの納豆支出額が高い都道府県ほど大腿骨近位部骨折率が低いことなどを示された。

続いて、大阪医科大学・高槻市・高槻市商工会議所の産官学の協力で昨年度より開始されたブランディング事業について、研究室の先生方から進捗状況の説明がなされた。同事業では、オミックス医療に向けた口腔内細菌叢研究とライフスタイル疫学研究融合による少子高齢中核市活性化モデル(高槻モデル)を創出することを目指しておられる。市の健診や講演会で研究への参加者を募り、口腔衛生をはじめとする健康増進に対する運動介入の有益性の検証、大阪医科大学附属病院で出産予定の高槻市在住の妊婦さんと生まれてくるお子さんを対象とした口腔内細菌や生活習慣と健康に対する調査の現況について報告された。前者の研究ではインターバル速歩を介入方法とし、「さっさか歩き」と称して適切な歩行スピードになると「丘を越えて行こうよ」の音楽が流れる仕組みの小型活動量計を用いた指導により血圧やBMI

が改善すること、主観的口腔機能と転倒に対する不安感との関連などを見出しておられるのは大変興味深かった。後者の母子の口腔内細菌叢に関する研究はこれからデータが集まってくるとのことであった。

最後に辻洋志非常勤講師から「米国における移民労働者の労働衛生」と「治療就労両立、障害者雇用における合理的配慮」の話をお聞きした。後者においては、米国の「障害をもつアメリカ人法(1990年制定)」と本邦の「改正障害者雇用促進法(2016年4月施行)」を比較して、法律の対象となる事業主・権利保護の対象となる個人やその能力障害・合理的配慮の考え方などについての相違を中心に述べられた。米国においては合理的配慮の目的がシンプルに社会的障壁の排除にあるのに対し、日本では「障害者は可哀想な方々であり、治療やリハビリを施し、社会が保護しなければならない」という医学モデルも包含しているため、合理的配慮を行う機会は米国より断然多くなること、障害者に対する合理的配慮と安全配慮の整理が必要との見解であった。

その後のディスカッションを含め、1時間半に渡って玉置教授はじめ研究室の方々の熱意あふれるお話を聴講でき、大変有意義な時間であった。紙面を借りて改めて御礼申し上げる。

会員の声



産業医雑感

カネカ大阪工場

藤井 宏

昨年、健保組合診療所を退職し、同年4月より、カネカ大阪工場産業医として勤務を始めました。工場内には、合成樹脂のペレット・フィルム・繊維・断熱材の製造・研究から、カテーテル・吸着器などの医療機器や薄膜太陽電池の製造・研究など、幅広い分野で多くの職種の人が働いています。製造や研究には種々の有機溶剤や化学物質が使用されています。樹脂の製造過程で、諸材料の粉碎・混和・押出しがあり、粉塵・騒音・熱が生じます。このように職場環境が多様なため、巡視も変化に富んでいます。また年間行事では、スポーツ大会、餅つき会や納会などがあります。納会では、腕達者な方による演奏会などがあり、レクリエーションも多彩で伝統を感じます。

種々の職場がありますので、従業員数も多く、定期健診、特殊健診などの事後フォローと多くの仕事がありますが、保健師さん、事務職員さんと仕事を分担しながら行っています。また長時間労働者、ストレスチェック後や復職の希望者、健康相談の方と面談を行っていますが、会話技術が問われ、内科診療とは違う難しさを感じています。

最後に、私事で恐縮ですが、父の話をさせていただきます。父は大正生まれで、同世代の多くの方が戦争で亡くなっています。応用化学科の学生でしたので、戦地に行くのは少し延期でき、その間に終戦を迎えました。戦後まもなく、化学工場に勤めていましたので、私が小さい頃、よく工場のことを話していました。その頃は、有害物を検出する機器もなく、検出器代わりにカナリアが使われたこともあったそうです。戦後、食べるのに精一杯で、労働者の安全が守られる時代ではなかった様です。この度、化学工場の産業医として働き始め、父の時代の話とは隔世の感がありますが、小さい頃聞いた話と重なり、何か不思議な縁を感じています。



新しく近畿地方会幹事になったの所感

積水化学工業(株)人事厚健G・健康推進室

荒木 郁乃

私は、臨床で約6年の看護師経験を積んだ後、大学院修了後に某外資系石油会社に16年間勤務致しました。そこでは、学会活動に熱心な産業医が多いという恵まれた環境が整っていました。私もせっかく修士課程を修了したので出来る限り学術活動も継続していきたいと思い、学会には積極的に参加すること、参加するだけでなく発表することを心がけて来ました。

境において産業衛生学会は、私にとってシステムティックに情報収集できてネットワークも形成できる大切な存在です。そのため、現在勤務している会社でも積極的に学会参加を推進しています。また、発表することを参加の原則としています。

そんな日本産業衛生学会も第92回ということで、継続することの重みを感じます。ただ、最近は学会があまり面白くないという声を聞くこともあり、私自身も以前に比べると物足りなさを感じていました。そのような状況で、今回代議員へご推薦いただき、「外からあれこれというのは簡単だ、今までたくさんの恩恵を受けてきた学会や諸先輩たちに少しでも恩返しができれば」と思い、私の大好きな大阪が所属している近畿地方会の幹事を務めさせていただくことになりました。

学会に参加すると、最新の知識が得られる、産業保健の潮流がわかる、同じ悩みを分かち合える、人脈を形成できるといった利点が多いと思います。また、発表すると、参加するのに加えて、より大きな収穫を得られることが多かったように思います。

さっそく幹事会に出席してみて、裏ではたくさんの方がボランティアに学会を支えて下さっていたのだなぁと頭が下がりました。伝説の?偉い先生たちばかりで緊張しますが、より魅力的な近畿地方会そして産業衛生学会になるよう頑張っていきますので、よろしく願い致します。

産業保健は、自分の所属している企業や団体における特徴に左右されることも多く、自ら横のつながりを求めないと情報が入ってきにくいと思います。このような環



つながり孤独と健康経営

大阪がん循環器病予防センター・循環器病予防部門

手塚 一秀

「つながり孤独」という言葉をご存知でしょうか。昨年NHKで取り上げられた、孤立していないのに孤独感を抱く状態を表す単語です。現代ではスマホやSNSなどのおかげで手軽に大勢の人とつながることができますが、その一方で、対面以外でのコミュニケーションが増えることで社会とのつながりが希薄になりつつあるようです。生涯未婚率の上昇や単独世帯数の増加が表すように、社会的孤立は高齢者のみならず若者や中高年にも広まってきています。

こうした社会問題は一見職場とは縁遠そうですが、実は職場の健康に悪影響を及ぼしているかもしれません。当センターでは地域及び職域を対象とした研究を行い、その結果を地域住民及び職場の方々へ還元する活動を長年続けています。最近の我々の研究では、家族や友人からのサポートが少ない人々で特に強く、職場のストレスと肥満とが関連しておりました（学会報告時の詳細を当ニュース No.117 でご紹介いただきました。

倉谷先生、ありがとうございました)。職場以外の人のつながりが減ることで、職場のストレスへの抵抗力が低下し、その影響で食習慣が乱れること等によって肥満に至った可能性があります。

社会的孤立は社会全体の課題であり、職場としても無縁ではられません。帰宅すればメールやSNSばかりで「つながり孤独」に陥っている職員も少なくないかもしれません。職場というつながりがあっても、職場でのストレスのことは同じ職場の上司や同僚には相談しにくく、自分一人で抱え込んでしまうことも多いと思います。このような状況は職員の健康を蝕み健康経営を脅かすリスクを秘めています。個人の問題であり、かつ職場にも影響を及ぼす問題と捉え、産業衛生としても対策を考えることは重要とみられます。もちろん職場が職員のプライベートに直接関わるわけにはいきませんが、私生活をサポートする働き方改革は有効かもしれません。例えば、時には早く帰宅できる日を確保して、家族や友人との時間を大切にもらうのもよいのではないのでしょうか。

今後も働く人々のためになる研究を続けていきたいと考えております。これからもどうぞよろしくお願い致します。



大学における安全管理とその課題

京大・環安保機構・安全部門

松井 康人

環境安全保健機構は全学的視点に立ち、環境と健康に配慮し、安全で快適な教育、研究、医療活動の場を確保するために、法人化翌年の2005年に設置されました。既に本学にあった環境保全センター、放射線同位元素総合センター、保健管理センター、低温物質科学研究センターが加わり、2016年から5部門体制として再スタートしました。私が所属する安全管理部門は、労働安全衛生法や毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法などの法令対応を中心業務とし、巡視などを通じて構成員の自律的な安全衛生管理を支援しています。

本学には教職員が約7,000名、学部生が約13,500名、大学院に約8,400名が属しています。7つの事業場とメインの3キャンパスは対応しておらず、また事業場内に複数の部局（学部や研究科などの組織）が混在している

ことから、管理体制の課題も多いです。現に吉田キャンパスには10学部が共存しており、これに研究科や研究所、センター、隔地なども含めると、トップダウン的な管理体制は物理的にも難しく、部局自治の文化が根付いています。

法人化から15年が経過したいま、大学法人における法令の適用範囲の議論や、予算に対する効果の検証などに、管理のフェイズが推移しつつあります。特にここ数年で、所属先が異なる複数の研究者らが、共通の実験スペースで流動的に研究に従事するなどの、産官学連携活動が増えつつあり、事業者並みの安全衛生管理を目指すにとどまらず、モデルとなるような体制づくりへの取り組みが始まっています。

国際化が飛躍的に加速し、さらなる業務負担が予測される中、安全衛生管理に限らず、エネルギー使用量の管理や、コンプライアンスを重視した留学生の受け入れ支援を、部局や大学の各々で対応することは、本来業である教育、研究を減速させることが容易に予測されます。本学会や近畿地方会を通じてこれらの課題を共有しながら、組織を横断した解決策を模索して行きたいと思っています。

近畿産業看護部会研修会報告

2018年度 近畿産業看護部会 第2回定例研修会に参加して



株式会社フォルテ

曾我部真代

普段の業務が、主に多数の企業に対するメンタルヘルスサポートであり、ケースによっては保健指導を入れたりしています。人事・総務部との連携と信頼関係は不可欠であり、最新の制度にもアンテナを張っていないとその企業に合わない支援になるので、今回の研修会は本当に勉強になりました。

前半は「産業保健の最近の動向と産業看護職の役割」のご講演を聞かせていただきました。いつも意識せずに業務を進めていたように思いましたが、振り返ると、組織診断（ストレスチェックの集団分析）やコンサルテーションは必然的に行っており、従業員の健康支援を軸に働きかけができていたことに自信を持ってました。また、新たな課題として、企業の人事・総務に対し、もっと健

康施策を推していかなければならないと気づきました。弊社のサポートは主に中小企業のため、経営層がなかなか健康経営という考えを持ちづらい傾向があります。アセスメントをしっかりと行い、PDCAサイクルを回せるよう、人事部と密に関わっていこうと思いました。

後半は「治療就労両立、障害者雇用における合理的配慮」のご講演をうかがいました。合理的配慮については初めて知るキーワードであり、概念でした。これまで、安全配慮義務には意識していましたが、障害を持つ方が働けるようにするために「社会的障壁を取り除く」という考えが必要であることを知りました。障害や病気は個人の問題であり、個人の問題を会社で働けるレベルまでに解決してからでないと働かせることができないとお考えの企業が多いと感じます。その方が働けるために社会的障壁をどう取り除くかという意識を新たに身に着けたいと思います。弊社の産業医の先生も安全配慮義務は意識されていますが、「障壁を取り除く」視点はあまりないと感じますので、産業医の先生を通じ会社への働きかけができるようにしたいと思いました。

このたびは貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。今後の健康支援に生かせるよう社内ですっきりと還元していきたいと思ひます。

産業精神衛生研究会の紹介

産業精神衛生研究会で仲間づくり、内容を職場に生かす！！

産業精神衛生研究会 紹介

重要、先駆的テーマを中心に
昨年「ストレスチェックの集団分析の実践」と
「中高年ドロップアウトタイプへの対応」を

実践的スキルが身につく
仲間ができます
最新情報が入ります

18年の歴史の
積み重ね
6名の幹事で運営

毎回60名～110名の参加の参加

夏目 誠/PIXTA(ピクスタ)

まず研究会紹介から。ポイントを上記の図に。私を含め井上幸紀（大阪市大教授）、谷口智子（富士通産業医）、市口りえ（デサント保健師）、矢野敏昭（産業カウンセラー協会事務局長）が幹事で、事務局は協会関西支部に委託。今年度も2回開催します。

2019年度第1回研究会

日時：2019年7月11日（木）18：30～21：00

場所：エルおおさか南館5階ホール

テーマ：事例から知る「発達障がい者」への実際的対応

講師：正岡 哲 クリニック医院長

松久真実 桃山学院教授

マコトのこト

職場の「発達障がい者」対応が求められていますね。合併も多いとか



第1回は、年間実数で300名以上を診療されています正岡 哲先生と、大学生相談と就活対応をされています松久真実桃山学院教授の講演ですよ！！

正岡先生によれば発達障害者の7割以上は合併症（自閉症とADHDのように）があります

夏目 誠/PIXTA(ピクスタ)

夏目 誠（毎日放送・産経新聞大阪・デサント）

第24回近畿産業医部会研修会のご案内

1. 日時：2019年9月28日（土） 14：00～17：10
2. 場所：エル・おおさか 南館5階ホール（大阪市中央区北浜東3-14）
3. 実行委員長：坂田晃一
4. 内容
「就業と治療の両立支援について－現状と問題点－」
(1) 基調講演 「就業と治療の両立支援の現状と課題」
座長：伊藤正人（パナソニック健康保険組合 健康管理センター）
講師：立石清一郎（産業医科大学両立支援科）
(2) シンポジウム 「事業場における事例及び課題等」
座長：坂田晃一（川崎重工業（株）兵庫工場健康推進センター）
シンポジスト：
西本真証（センクス産業医事務所）「専属・嘱託産業医の立場から」
久米田知佳（日本製鉄（株）大阪支社）「産業看護職の立場から」
平田直子（関西労災病院医療連携総合センター）
「両立支援コーディネーターの立場から」
コメンテーター：
立石清一郎（産業医科大学両立支援科）
5. 研修単位：日本医師会認定産業医 生涯研修（専門）3単位（申請中）
6. 申込方法：後日ご案内いたします。

技術部会からのお知らせ

2019年度第1回幹事会を2019年3月9日（土）12：00～12：45にホテル新大阪レストラン（大阪市東淀川区東中島1-20-33）において開催し、2018年度事業報告と会計報告、2019年度事業予定報告について討議致しました。その結果、新部会長として関西福祉科学大学・長見まき子教授、副部会長として中災防大阪労働衛生総合センター・竹内靖人室長補佐が選ばれました。

2019年度研修会を2019年3月9日（土）13：30～16：30に新大阪丸ビル別館（大阪市東淀川区東中島1-18-22）において、心理技術研究会との共催で日本医師会認定産業医生涯研修を兼ねて開催されました。「うつ病の予防と治療について」をテーマとして国立精神・神経医療研究センター・功刀 浩 部長にはうつ病予防のための生活・食事について、長岡ヘルスケアセンター・

若井貴史 臨床心理士にはマインドフルネスによるうつ病予防についてご講演をいただいた後、質疑討論及びマインドフルネスの体験を致しました。出席者は78名でした。

2019年度第2回総会・幹事会を2019年11月9日（土）開催の第59回近畿産業衛生学会場にて開催予定です。詳細は次号（119号）にてお知らせいたします。

産業看護部会からのお知らせ

1. 2019年度 第1回 定例研修会のご案内

日時：2019年7月20日（土）13：15～17：00 予定（受付12：45～）

会場：ドーンセンター大阪

内容：

Part1.

講演：「働き方の変革期における産業保健の課題～産業看護職が果たす役割について～」（仮題）

講師：土肥誠太郎（三井化学（株）本社健康管理室）

Part2.

近畿産業看護部会活動の紹介

①講演：「近畿産業看護部会の歴史的背景から鑑みて、これからの看護職に期待するもの」

講師：大脇多美代（近畿産業看護部会）

②活動報告と今後の取り組みについて（鮫島部会長）

定員：100名（先着順）

参加費：日本産業衛生学会員 無料

非会員 500円（資料代）

研修単位：産業保健看護専門家制度研修 単位申請中

*最新情報は日本産業衛生学会近畿地方会 HP でご確認ください。多くの方のご参加をお待ちしています。

2. 2019年度産業看護部会本部研修のご案内

本年度「基礎研修Aコース」は以下の開催を予定しています。

日時：8月29日（木）～31日（土）

場所：東京工科大学蒲田キャンパス

申し込み開始は6月頃予定（産業看護部会本部 HP から申し込み）

URL：<http://sangyo-kango.org/wp/>

3. 近畿産業看護部会新幹事体制のお知らせ

幹事体制、幹事数の見直しをおこない、4月から新体制になりました。近畿地方会 HP をご覧ください。

URL：<http://jsoh-kinki.jp>

会員の異動 (五十音順・敬称略)

〈新入会員〉

浅川 真知子 オムロンエキスパートリンク (株)
 一柳 裕司
 岡崎 仁美 読売新聞大阪本社人事部医務室
 門屋 誠 一般社団法人 姫路市医師会診療所
 河合 篤子 神戸製鋼所健康保険組合
 木下 真由美 パナソニックデバイス日東 (株)
 清林 章 全国健康保険協会大阪支部
 久世 弥生 (株) 神戸製鋼所 加古川製鉄所
 小西 美佳 (株) ティージェーケー
 小室 竜太郎 三井住友海上 関西健康管理室
 坂口 泰人 岸和田市民病院 呼吸器センター
 笹岡 由紀子 長瀬産業 (株)
 須川 彩子 オムロンエキスパートリンク (株)
 杉本 洋子 パナソニック健康保険組合
 世良 淳子 (株) 丸善ジュンク堂書店
 瀧 秀樹 国立病院 大阪医療センター 糖尿病科
 田中 智大
 田村 寿子 (株) 京阪ビジネスマネジメント
 坪田 典之 (株) 神戸製鋼所 加古川製鉄所
 徳永 京子 合同会社チームヒューマン
 豊田 隆俊 豊田労働コンサルタント事務所
 中口 磨理 住友ゴム工業 (株)
 中塚 清将 神戸大学 医学部保健学科理学療法学専攻
 廣瀬 里恵 (株) 村田製作所 八日市事業所
 藤吉 朗 和歌山県立医科大学
 堀米 麻美 I-QUON (株)
 増田 大作 りんくう総合医療センター
 松原 侑輝 (株) ヘルスウエイブ
 松本 宏子 オムロンエキスパートリンク (株)
 三本 珠実 (株) 京阪ビジネスマネジメント
 山崎 慈子 武田薬品健康保険組合
 山下 元秀 住友ゴム工業 (株) 本社健康管理センター
 吉村 綾子 ダイハツ工業 (株)
 米永 哲朗 米永歯科医院

第59回近畿産業衛生学会のお知らせ (第一報)



一般財団法人 京都工場保健会

森口 次郎

産業保健に関わる多職種がさらに活躍するために必要なことを考える機会にしたいと準備中です。秋深まる京都へぜひお越しください！

1. 日時：2019年11月9日 (土)
2. 場所：立命館大学 朱雀キャンパス
(〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1)
3. メインテーマ：産業保健職のキャリアを考える～私たちの未来予想図～

4. 内容

- 1) 一般演題 (口演)
 締切り8月30日 (金) 優秀
 演題賞・若手奨励賞を表彰
 - 2) 教育講演
 「プロスポーツの社会貢献」～今日の社会とスポーツ～
 演者：種子田 穰 (立命館大学スポーツ健康科学部)
 - 3) 基調講演
 我が国の産業保健プロフェッショナルの育成システム～これまでと今後
 演者：森 晃爾 (産業医科大学産業生態科学研究所)
 - 4) シンポジウム 『よりよい産業保健サービスをめざして』～専門性向上と連携強化～
 - 5) 企業展示
 - 6) 懇親会：伏見の銘酒飲み比べなど (予定)
5. ホームページ：<https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-59/>
 6. 事務局：一般財団法人 京都工場保健会
 産業保健推進室 (担当：原田 大橋 平井)



編集後記

「国の内外、天地とも平和が達成される」ことを願って名付けられた「平成」の時代は、未曾有の災害に見舞われ、長時間労働とストレスフルではありましたが、平和が達成され無事に終わったとっていいのではないのでしょうか。「美しく心を寄せ合う中で文化が育つ」ことを願って名付けられた「令和」の時代が、「働き方改革」によって社内が和やかにな

り、文化が育てば嬉しいですね。

(圓藤 陽子)

編集委員 (50音順)

圓藤 陽子 清原 達也 (代表幹事)
 久保田昌詞 (担当理事) 鈴木 純子 (担当理事)
 堤 梨恵 藤岡 滋典 村田 理絵 (代表幹事)